

熱可塑性エラストマー事業強化

三菱化学

耐熱など新製品相次ぎ投入 海外生産拡大へ中国でFS

三菱化学は、新製品の積極投入とグローバル供給体制の確立で熱可塑性の高機能エラストマー事業を拡大する。マーケット・イン型の差別化戦略を進めるなか、このほど透明性や耐熱性に優れた大型新製品の開発に相次いで成功した。外部企業と委託生産契約を結んで商業生産を始める。また自動車業界など需要家の海外展開に合わせ、昨年には米国で製造拠点を確保、さらには中国進出に向けての具体的な企業化調査も開始して供給体制を地球規模で拡大していく。

三菱化学は、機能耐熱性の位置付けの下で熱可塑性エラストマーを事業化しており、問題解決型の製品・品種供給力を強めることで高付加価値型の展開を志向している。こ

こでは、市場動向をくみ

上げ製品や品質にいかんが早く反映させていくかがカギとなる。そうしたなか、このほど将来の柱と見込む製品の開発に成功した。

開発したのは、マレイ

系熱可塑性エラストマー「プリマロイ・エーシリーズ」とリアクター型のオレフィン系熱可塑性エラストマー「セラス7000番」。このうちプリマロ

イ・エーシリーズは、透明性を高めるほか、ポリオ

レフィンを上回る耐熱性を発揮、さらにはEVOHなどの接着性にも優れる。このため食品包装材などでバリアー性付与

のため多層化する際にも使用すれば、ポリオレフィンを使ったフィルムでは対応できなかった高耐熱性などの高熱調理にも対応できる。またセラス7000番も、透明、耐熱、柔軟性などに優れており、医療器具などの特殊用途での需要が期待できる。いずれもポリプロピレン(PP)メーカー

などの他企業と連携し、供給体制を構築する。自動車などで進むグローバル化に対応して、世界的供給体制がエラストマー事業でも急速に求められている。三菱化学でも、これまでは国内主体に事業を進めてきたが、これからは世界展開を強めていく姿勢を明確にしている。その第一弾として昨年には、自社投資してエアバックのカバー材などに使うポリオレフィ

化学総合

すぐれた技術と長い経験が生んだ

川口薬品のベンゾイルパーオキサイド

- BPO-WET ●BPO-PASTE
- BPO-SP(顆粒)

静岡川口薬品 株式会社 ISO 9002 認証取得

東京 03-5717-1173 / 大阪 06-6344-4517 / 名古屋 03-495-4955 / 福岡 092-8133

ン系「サーモラン」の工場を米国サウスカロライナに建設した。米国での拡大のほか、自動車業界の本格進出計画に合わせ、中国における供給拠点を視野に入れてい